

第4問

- (2) 当社は、XとYの2種類の組製品を製造・販売しており、原価計算方法として組別総合原価計算を採用している。原料費は各組に直課し、加工費は各組の原料費にもとづいて各製品に配賦している。次の〔資料〕にもとづいて、下記の問に答えなさい。

〔資料〕

1. 生産データ

	X製品	Y製品
月初仕掛品	4,000 個 (50 %)	20,000 個 (20 %)
当月投入	40,000	40,000
合計	44,000 個	60,000 個
月末仕掛品	8,000 (50 %)	10,000 (40 %)
完成品	36,000 個	50,000 個

(注) 原料はすべて工程の始点で投入し、() 内は加工費の進捗度である。

2. 当月の加工費 7,600,000 円

- 問1 組別総合原価計算表を完成させなさい。なお、完成品総合原価と月末仕掛品原価の計算には先入先出法を用いること。
- 問2 X製品の完成品単位原価を計算しなさい。
- 問3 Y製品の完成品単位原価を計算しなさい。